


意見発表様式

氏名	飯塚 隆藤
テーマ	鴨川源流域をめぐるツアーの実施について一より深く鴨川を知るために
意見	<p>2015年12月上旬に、20代から30代の男女6名が集まり、鴨川の源流域を歩いた。これまで鴨川府民会議においても、上流の不法投棄の問題や環境保全について数多くの議論がなされてきた。また、鴨川の源流である雲ヶ畑の棧敷ヶ岳をめぐり、頂上までの様子が「鴨川真発見記 第217号」に詳しく報告されている（偶然にもこの報告とほぼ同じ時期に訪れた）。</p> <p>今回の目的は「鴨川の源流をみる」をテーマに、鴨川の支流である祖父谷川の水源地をたどることであった（岩屋川側の志明院には、祖父谷川をたどった後に参拝した）。私たちは湧水や祖父谷川へ流れ入る支流を一つ一つ確認しながら、水源を目指して歩いた。その結果、私たちが水みちをたどったルートおよび確認できた水源は下図の通りである。水源や水の流れ出るところは、天候や土壌の状態、季節などによって変動するため、必ずしも一つとは限らないが、祖父谷峠付近、標高760mから水が流れ出る様子を確認できた。それと同時に、現在いる場所そのものが「源流」であることを実感した。</p> <p>私を含め、初めて鴨川の源流域をたどった6名は様々な光景を目の当たりにし、それぞれの関心に基づき、鴨川について考えることができた。以下は、6名の会話から出てきたトピックである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水源、水質の保全（中流・下流での水利用、河川利用への影響） ・土壌侵食、倒木、砂防ダム（台風や豪雨に伴う土壌流出の影響？） ・植林の重要性／効果（人間の背丈ほどの若木が植林されていた） ・野草の多様性（野草に詳しい地域住民によるガイドツアーの実施） ・野鳥の生息環境（どのような野鳥がどこに生息しているのか） ・利用者（ハイカーのみならず、マウンテンバイクや自動二輪車も多い） ・森林浴、清涼な空気、心の安らぎ、癒しの空間、パワースポット、etc. <p>源流域をめぐることで、水源の大切さを実感できる。また、三条～四条大橋間のように人々が集い、賑わいのある空間とは異なり、鳥や木々の声、水の流れる音に耳を傾けながら、静寂に満ちた空間に浸ることができる。こうした取り組み（ツアー）を行うことで、鴨川への関心を高め、より良い河川環境の創造・利用促進につなげることができればと考えている。</p> 

意見発表様式

氏名	石川百合子
テーマ	鴨川の文化芸術的魅力について
意見	<p>鴨川の歴史継承、文化価値、美しく親しみのある鴨川を次世代に引き継ぐために、日本が世界に誇る文化芸術的魅力を発信する、鴨川歌舞伎発祥の地を形にする提案します</p> <p>1. 四条大橋界隈の飛び石 公園 計画</p> <p>三条と四条の間に飛び石を作る。飛び石は阿国歌舞伎発祥の地に相応しい歌舞伎の中からデザインを選ぶ、阿国が上り旗にしるした、下り藤、花菱など。</p> <p>平成3年 荒神橋の飛び石工事総額 2600 万円 飛び石 37 個、亀の石 11 個、デザインは、京都府庁の職員</p> <p>「四条大橋の近くに飛び石できるらしいね。歌舞伎を作った出雲阿国が使った模様の形の石らしい。歌舞伎の発祥は、東京の荒川、隅田川じゃないんだね〜。」</p> <p>2.河川管理上無理のない範囲で いつか阿国ステージも作って下さい。</p> <p>京都出雲阿国顕彰会 ○2011年2月22日四条北座 「阿国が京都によみがえる」セミナー 阿国銅像の掃除をはじめ</p> <p>○2013年 出雲大社 平成の大遷宮の年に 出雲阿国像を出雲市へ寄贈</p>

氏名	長山 剛久
テーマ	鴨川上流域の環境保全について
意見	<p>鴨川は、京の水文化の源であり、人々の暮らしと日本の文化を支えてきたと言っても過言ではありません。その豊かな鴨川を次の世代に引き継いでいくための重要な課題のひとつは、良好な水質の保全であり、そのためには自然環境を如何に保全していくかにあると思います。</p> <p>1 現状</p> <p>鴨川流域懇談会の提言「千年の都と鴨川」を受けて、鴨川条例による鴨川環境保全区域の設定、「鴨川河川整備計画」やそのアクションプランである「千年の都・鴨川清流プラン」で鴨川の柘野堰堤から下流の整備については、具体的に計画され順次実施されてきています。しかし、柘野堰堤から上流域の環境保全については、不法投棄等の防止、早期対応のための河川巡視の強化、森林の保全などの項目が記載されている程度で、具体的な施策や実施計画(日程計画)が明確になっていません。昨年末から関係者の努力でようやく台風で流出した産業廃棄物等の大掛かりな撤去が実施されましたが、残りの産業廃棄物等の撤去や再発防止策の計画もはっきりしていないのが実情です。</p> <p>2 今後の取り組み</p> <p>鴨川上流の環境を守り、水質を保全するため、次の具体的な施策を実施することを提案します。</p> <p>1) 上流域(源流域を含む)の環境保全実施計画(日程計画)の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施担当部署の設置(京都府、京都市、京都府警) ・産業廃棄物等の回収、処分 ・再発防止策(情報の一元化、巡視、監視カメラ等) <p>2) 鴨川環境保全区域の見直し</p> <p>3) 森林の保全・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境税 ・鴨川基金 <p>4) 保全に必要な土地の取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナショナルトラスト方式

氏名	真下 仁志
テーマ	愛される鴨川をめざして（まとめ）
意見	<p>2年間鴨川府民会議委員として発言してきたことの総括として、重複する部分があるかもしれませんが、私の意見を以下に述べたいと思います。</p> <p>1. 防災の視点</p> <p>近年大雨や台風による河川の氾濫被害が各地に出ており、鴨川も上流域での災害がありました。府市民の災害による被害を防止することを第一に考え、河川敷の整備を始め、堤防、中洲の整備、川底の整備などを毎年行い、地震、台風、大雨等災害に強い鴨川をめざさなければならぬと思います。</p> <p>2. 環境保全の視点</p> <p>鴨川には、鳥がいきかい、魚が泳ぐといった素晴らしい環境が保持されています。しかしながら、上流域では、何回となく大型ごみが投下され、一般ごみも散乱するなど環境を侵食する行為がみられます。ボランティアの方々の清掃活動にも限界があり、いたちごっこになっております。私が何回か会議でも申しましたように、上流域への出入り口は1本道に思われますので、是非出入り口に監視カメラを設置いただき、監視を強化すべきだと思います。主要な箇所でのフェンスの設置、地域住民、警察隊の定期的な巡回も強化すべきだと思います。そしてごみを投下した犯人（企業あるいは個人）には大型ごみを回収させるだけでなく、厳しい罰則を科し、2度とこのようなことをさせないようにすることが求められます。</p> <p>3. 美しい景観創造と保持の視点</p> <p>鴨川河川の両サイドには、春には桜並木、夏には美しい緑の樹木、秋には紅葉や黄色の木々、冬には雪化粧した樹木が四季の変化と共に見られます。川べりの小道には四季折々の花が咲いており、私たちの目を楽しませてくれます。そして遠くに美しい山並みがみられ、8月には大文字の送り火が楽しめます。そのような景観を保持、創造したいものです。</p> <p>4. 賑わい空間創出の視点</p> <p>夏には鴨川納涼行事があり、三条、四条間では、特設ステージでいくつかの演技が行われます。通行空間の配慮、行事内容の進化等毎年問題点を検討していくならすばらしい賑わいの創出だと思います。鴨川ギャラリーはもう少し照明が欲しいし、設置場所が各橋の下ごとにあれば良いし、音声による説明も必要だと思います。演者のステージは鴨川全域に広げて、いくつか常設にして、コンテスト性にして高得点の上位たとえば10者が先斗町公園前の特設ステージで発表するようにすると面白いかもしれません。要は、鴨川</p>

全域で常時、府市民が、唄を歌い、音楽を奏で、その他のパフォーマンスが行われているシーンが見られればと思います。

5. 府民・市民の健康・体力維持に関する視点

鴨川沿いには、自転車道がありサイクリングが出来るし、マラソンする小道があり、散歩する小道が整備されており、広場ではストレッチなど体操できるスペースが整備されているなど、府民、市民がいつでも健康の維持に活用できる空間であって欲しいと思います。

6・憩いの場所の視点

家族が休日には、お弁当を持参して皆でくつろぎ、談笑する空間であって欲しいし、場所を限定して、バーベキューで、会社や地域の仲間たちが親交を深めるシーンが見られることも良いことだと思います。

7・安全・安心、防犯の視点

夜には鴨川沿いにカップルが語らい、老夫婦が散歩する。そこには、犯罪のない安らぎの空間があり、定時的に警察、行政の職員、地域住民のパトロール隊が安全、安心、防犯のために巡回している。そのような環境を作り出したいと思います。

8. 鴨川流域全体を公園とみなし、京都の名所とするし視点

鴨川流域全体を公園とみなし、府民、市民はもとより、観光客も京都を訪れた際には必ず鴨川を訪問し散策する京都の観光名所としたいと思います。そのためにも、河川沿いの小道には季節の花々が咲き乱れ、兩岸の樹木は季節ごとに桜、紅葉、緑の葉っぱが、一帯を覆い尽くしているし、澄んだ川のながれには、魚が泳ぎ、鳥のさえずりが聞こえ、遠くには美しい山々が展望できるそのような状況がいつも保たれているようにしたいと思います。

意見発表様式

氏名	元橋 篤信
テーマ	①鴨川環境と災害の防止 ②鴨川景観と観光地の宣伝 ③府民会議の発展のための改善 ④なからぎの道の紅しだれ桜
意見	①-1 鴨川源流の廃棄物投下禁止のため、早くカメラを設置することが美しい鴨川を守る1つの方法だと思う ①-2 上流において砂防ダムを早く作る事だと思う。川ぞいの堆積を取りのぞくこと ①-3 鴨川兩岸にトイレが非常に少ないのではないかと橋の両側(サイド)に一ヶ所づつ設置したらどうか ②-1 鴨川の床の冷暖房の機械の目隠しの件ですが、条例ができていまだに以前そのまま工事が進んでいないのは何か他に問題があるのか経過報告を聞きたい ②-2 鴨川の河川敷の出入口に案内板(説明文)を増し、英語、中国語、韓国語、日本語を入れて設置したらどうか ②-3 トレビの泉のようコインを投げ入れる所を作り、入ったら幸せがあるように宣伝したら(かめりや 桜と同じように) ②-4 いまだに犬のフンが多いので、ペット(特に犬)をつれての散歩を禁止したらどうか ②-5 自転車の通行禁止(特に桜、紅葉の時)期間をもうけたらどうか ③この会議も8年間続けていると意見も人もマンネリ化しているのではないかと。議題も大変だと思う。そこで議長以外全員メンバーチェンジしたら良いのではないかと。もし、何か専門的な話が聞きたい時は、講師としそのつど呼べば良いのではないかと。次期募集の時は学生を入れるという事も聞いていますが、非常に良いことだと思います。 ④現在74本の紅しだれ桜が植栽されています。世界の観光客にも認められ、桜の回廊となり、今回は世界の空港ターミナルになからぎの道の桜のポスターが貼られます。年間の維持管理計画を策定し、除草、施肥、害虫駆除、剪定、灌水設備etc.の点検保守し、費用も400万円位毎年使っています。今回、桜の成長と共に棚の新設を京都府様にお願ひし完成いたしました。昨今の厳しい経済環境の下、維持管理資金確保のため、寄付活動(茶会)サポーター募集etc.の設置をし桜を守っていきたく思います。